

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 203 号	氏名	柴田 英貴
学 位 審 査 委 員	主 査 兼松 隆之 副 査 丹羽 正美 副 査 近藤 宇史		
論文審査の結果の要旨			
1. 研究目的の評価 本研究は、酸化ストレスが肝疾患の進行にかかわっていることと、肝疾患でしばしば高血糖をきたす事象をもとに、酸化ストレスと高グルコース環境が正常肝細胞に対していかなる影響を及ぼすかを検討したものであり、目的は十分に妥当である。			
2. 研究手法に関する評価 ヒト正常肝細胞株を用いて高グルコース環境下に培養を行い、酸化ストレス物質を添加することで細胞死を誘導し、その発生機序について調べた。また、これに汎カスパーゼ阻害剤を加えることにより細胞死への影響も調べたものであり、その研究手法も妥当である。			
3. 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、高グルコース環境下での酸化ストレスの存在は、正常肝細胞を死に至らしめる傾向があり、細胞はネクローシスに陥っていることが明らかとなった。この病態は臨床的にもしばしば遭遇するものであり、本研究の成果は、今後の肝臓病学研究への進展が大いに期待される。			
以上のように、本論文は肝臓病学研究に貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値すると判断した。			